

第6回 立川基地跡地昭島地区に係る猛禽類保護方策検討委員会

議事録

議 事

(1)自然環境調査の経過報告について

○事務局から自然環境調査の経過について報告

(委員の主な意見)

- ・フクロウが希少猛禽類の巣を奪う事も考えられるので、フクロウ用の巣を別途設置してはどうか。

(2)今後の保護方策について

○事務局から現時点における区画整理事業の整備計画について説明し、今後「事業の配慮」、「事業実行上の配慮」及び「事業完了後の配慮」について議論願いたい旨提案

(委員の主な意見)

- ・希少猛禽類のモニター方法について検討する必要があると思われる。
- ・工事が始まる前の段階での、年間(特に繁殖期)を通じたデータ集積が大事。
- ・最初から繁殖期、特に抱卵期には工事をしないという工期に対する制限をかける必要があるのではないか。保護区域から近いところはより厳しく、離れたところは緩くても良いと思うが、一定の期間繁殖ステージを考慮した措置が必要ではないか。
- ・工事はなるべく巣の遠くから始めて希少猛禽類に慣れさせるほうが良い。
- ・希少猛禽類は音よりも人を警戒するので、そのための配慮が必要。仮囲いによる工法を検討してはどうか。
- ・全体について大径木はなるべく切らないで保存するような努力を配慮事項として盛り込んでほしい。

○イノシシ駆除の途中経過(4月下旬にメス1頭を捕獲した事)を報告

○今年度に予定される工事・役務(土壌汚染調査)について報告

以 上